

パーソナルオーディオシステム

リファレンスガイド



SRS-X7

©2014 Sony Corporation Printed in China



* 4 5 2 7 9 5 5 0 1 * (1)

保証書		持込修理																
品名	パーソナルオーディオシステム																	
型名	SRS-X7																	
お買上げ日	平成・西暦	年 月 日																
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。																		
ソニー特約店																		
お問合せ先：修理相談窓口 フリーダイヤル： 0120-222-330 (FAX 0120-333-389) 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599 ホームページ：http://www.sony.jp/support/ ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075																		
保証期間	お買上げの日から	1 年																
お客様住所	電話	- -																
お名前	様																	
無料修理規定 1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理・持込修理・引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>受付窓口</th> <th>保証書の提示・提出</th> <th>注意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張修理 (1)(2)(3)</td> <td>出張修理担当者が訪問した際に提示</td> <td>※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>持込修理 (1)(2)</td> <td>持参した製品の修理依頼の際に提示</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引取修理 (3)</td> <td>製品の引取時に指定業者へ提出</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。 ※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。			種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項	出張修理 (1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1		持込修理 (1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2		引取修理 (3)	製品の引取時に指定業者へ提出		
種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項															
出張修理 (1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1																
持込修理 (1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2																
引取修理 (3)	製品の引取時に指定業者へ提出																	
2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。																		
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。 (1) 本書のご提示がない場合(2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷(8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換																		
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。																		
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。																		
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。																		
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。																		
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。																		
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.) <table border="1"> <tr> <td>修理メモ</td> </tr> </table>			修理メモ															
修理メモ																		
※ 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。 ※ 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-3																		

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② ACアダプターをコンセントから抜く
- ③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意 火災 感電

行為を禁止する記号

禁止 接触禁止 ぬれ手禁止 分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く 指示

危険 火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因**となります。

付属以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

火の中に入れない

分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因**となります。

車の中で使用しない

スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やケガの原因になることがあります。

内部に水や異物を入れない

火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

自然放熱を妨げない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

LAN端子に指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

- LAN端子に下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンの回線には、絶対に接続しないでください。
- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
 - PBX（デジタル式構内交換機）回線
 - ホームテレホンやビジネスホンの回線
 - 上記以外の電話回線など

注意 下記の注意事項を守らないと**けがをしたり周辺の家財に損害を与えたり**することがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 **充電式電池が液漏れしたとき**

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告 充電式電池について

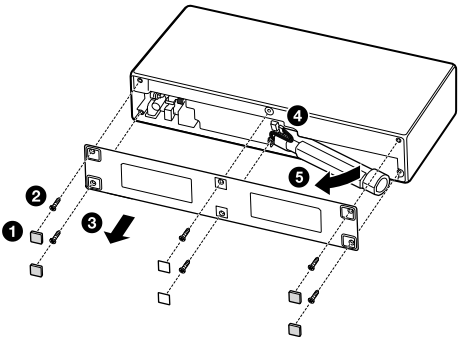
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

本機を廃棄する

環境保護のため、リチウムイオン充電電池を取り出してください。充電電池を取りはすす前に、ACアダプターを抜いて本機を充電池のみで使用して、充電電池を使いきってください。

警告 **本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。**

- 本機の電源を切って、ACアダプターをはすす。
- 本体背面のカバーを取りはずし、充電電池を取り出す。
 - 本機底面6か所にあるゴムカバーをはすす。
 - 6個のねじをはすす。
 - ふたをとりはすす。
 - 充電電池のコネクタを本機からはすす。
 - 充電電池を取り出す。



ご注意
 ● 充電電池を取り出すとき、金属製ピンセットなどでコードの被服に傷をつけないようご注意ください。

注意 **日本国内での充電式電池の廃棄について**

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

